

市区町村名	愛媛県 <small>まさきちょう</small> 松前町	担当部署	町民課
		電話番号	089-985-4103

1 取組事例名

支え合いによる子ども・高齢者の交通安全推進事業

2 取組期間

平成 31 年 4 月～令和 2 年 3 月

3 取組概要

町民が互いに支え合い、安心して暮らすことができる町を目指して、町民が主体的に交通安全について考えることができる機会を提供するため、以下の取組を実施した。

- (1) おしゃれな反射材プロジェクト
- (2) 住民の創意工夫で作る注意喚起看板プロジェクト
- (3) 支え合いによる高齢者運転免許自主返納環境づくりプロジェクト

4 背景・目的

町民に主体的に交通安全について考えてもらうことで、交通事故の抑制につなげるとともに、町民同士が互いに支え合い、安心して暮らすことができるまちづくりを推進するため実施した。

5 取組の具体的内容

(1) おしゃれな反射材プロジェクト

高齢者サロン、親子連れが多く訪れるイベント等で交通安全ワークショップを開催し、伊予警察署員からの講義で町内の事故状況や反射材装着の大切さについて学んだほか、参加者自身で「おしゃれな反射材」を製作することで、参加者の交通安全意識の高揚及び薄暮や夜間の交通事故抑止を図った。

【参加者数（延べ）】 500 人

【町内の交通事故状況】 事故件数：52 件（前年比-15 件）、死者数：2 件（前年比±0）、
（令和元年中） 傷者数：57 件（前年比-17 件）



(2) 住民の創意工夫で作る注意喚起看板プロジェクト

イベント、会合等で、住民から、より効果的に注意喚起ができる看板の文言のアイデアを募集し、これまで以上に交通事故危険箇所について注意喚起できる看板を作製することで交通事故抑止を図った。

【アイデア数】 81 案

【看板作製数】 2 種類各 20 枚の計 40 枚（設置済み 6 カ所）



(3) 支え合いによる高齢者運転免許自主返納環境づくりプロジェクト

運転免許自主返納事業を開始し、高齢者が運転免許を自主返納しやすい環境を整備し、高齢ドライバーによる交通事故の減少を図った。また、公共交通利用券を交付する際には、子どもたちが作成した交通安全メッセージカードを添付し、子どもたちからの思いやりの心を自主返納者に届け、みんなで支え合う安全・安心なまちの推進を図った。

さらに、住民組織等と協同で、コミュニティバスの時刻表を観光名所やおすすめバスルートが分かるものに改良し、地域公共交通であるコミュニティバスの利便性を向上させ自主返納の促進を図った。

【運転免許自主返納事業利用者数（～3月17日）】 177 人

【バス時刻表作成部数】 3,000 枚



6 特徴（独自性・新規性・工夫した点）

町民が集まるイベント等を利用して積極的に事業を実施し、できるだけ多くの町民に参加してもらえようとした。

7 取組の効果・費用

（1）おしゃれな反射材プロジェクト

ワークショップ形式をとったことで参加者が交通安全を自分事として捉え、事故抑制のため主体的に考え行動に移すきっかけを作ることができた。また、高校生に反射材作りの指導に当たってもらうなど幅広い年代が交流を深めながら安全安心のまちづくりを進めようとする機運を高めることができた。事業を実施した令和元年中の町内の交通事故件数：52件（前年比-15件）、死者数：2件（同±0）、傷者数：57件（同-17件）と、前年より軽減できた。

（2）住民の創意工夫で作る注意喚起看板プロジェクト

住民自身に文言を考えてもらうことで、自身の交通マナーを振り返ることができたほか、多くの親子連れ、友人同士で集まる場で文言を考えてもらったことで家族、友人同士でも交通安全を考えるきっかけを創出できた。さらに、イベント、会合等の様々な住民が集まる機会での検討を重ねることで、参加した住民が交流を深めながら町の交通事故抑制にはみんなで協力していく必要があることを感じてもらうことができた。

（3）支え合いによる高齢者運転免許自主返納環境づくりプロジェクト

高齢者が運転免許を自主返納しやすい環境を整備することで、高齢ドライバーによる交通事故の抑制に寄与できた。また、子どもたちが作成した交通安全メッセージカードの添付によりみんなで支え合う安全・安心なまちづくりを進めることができた。バス時刻表の改良では、バス利便性の向上や自主返納の促進をはじめ、話し合いにより町の良さを再発見・共有することもでき、郷土愛の醸成を図ることができた。

8 取組を進めていく中での課題・問題点（苦労した点）

町民の声を大切にし、町民が主体的に気持ちよく参加できる環境づくりに努めた。

9 今後の予定・構想

おしゃれな反射材プロジェクトに関しては、今後も伊予警察署と協力しながら継続し、交通事故の抑制をはじめ、町民同士が支え合い、安心して暮らすことができるまちづくりを推進していく。

住民の創意工夫で作る注意喚起看板プロジェクトに関しては、今回製作した看板を交通事故危険箇所に適宜設置していくことで、交通事故の抑制を図る。

支え合いによる高齢者運転免許自主返納環境づくりプロジェクトに関しては、免許返納支援事業の継続により運転免許を自主返納しやすい環境を整備していく。また、バス時刻表改良については、よりよいバスの活用法について住民団体等との話し合いを継続していくことにより、町民同士が支え合い、安心して、また快適に暮らすことができるまちづくりを進めていく。

10 他団体へのアドバイス

行政からの一方的な交通安全の啓発とにならないよう、町民自らに交通安全の実践者であることを自覚してもらい、町の交通安全について主体的に考えてもらえる環境づくりが重要である。

1 1 取組について記載したホームページ

特になし